

聖霊降臨節第9週 主日礼拝

2015年7月19日

第一礼拝(8:00～) 第二礼拝(10:30～) 夕拝(19:00～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ゼカリヤ書』4章6-9節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌1「いざぎきたりて」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈祷		司会者	
感謝の賛美	新聖歌215「神は汚れたる世人のため」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』6章12-19節(新約119頁)	司会者	
聖書黙想		—	同
説教	「人格によらず、能力によらず」	近伸之牧師	
黙想		—	同
※応答の賛美	新聖歌436「未だ見ぬ地」	—	同
感謝の献金	(新聖歌55)	—	同
感謝祈祷		山崎敬典兄	
諸案内	(来信および集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介および報告)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌62「天つみ民も」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

司会	片山健司兄	音響・映像	横堀正美兄	CS担当	片山初子姉
集會	横堀信子姉	演奏・操作	横山洋平兄	説教の録画	近伸之牧師
				掃除	片山初子姉

説教メモ

- イエスにとって、父なる神との交わり(=密室での祈り)が、すべての力の源だった。人の姿をとり、地上で傷つきながら歩むイエスは、すべてを父なる神に打ち明け、そして父もまたイエスに道を示してくださいました。祈りは願い事ではなく、神にすべてを打ち明けることである。祈りを通して、私たちの霊は力を取り戻す。
- イエスは、新しい神の国の基とするために、新しい12部族の代表として使徒たちを選ばれた。しかしその選定基準は、人格でも能力でもない。ただ祈りを通して示された、父のみこころによる。あなたが今ここにいるのも、父なる神のご計画の中にある。人の目を気にすることなく、神に選ばれた自由を喜び楽しもう。
- 「使徒」とは「遣わされた者」という意味。すでにイエスには「弟子」がたくさんいたが、主はご自分の全権大使として福音を宣べ伝える「使徒」を必要としていた。私たちが「弟子」としてみことばを学ぶのは、「使徒」として遣わされるため。ただ、語ってゆこう。遣わされた方がすべての責任を負ってくださるのだから。

個人、団体からの来信

2015年7月19日

山形恵みキリスト教会より領収証と週報／五泉福音キリスト教会より、献堂報告と記念写真／「教会と国家」委員会「学び会」案内(本日午後1時50分 新潟福音教会)／2015年度宣教区講演会第2回準備連絡会の案内(7/21火 午前10:00 新潟福音教会にて)

先週の集会出席者数

7/12(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性- 幼児女子2 小学女子2 中学女子- 高校女子- 4名 成人女性2	
7/12(日)	第一礼拝	男3 女4 計7	
	第二礼拝	男9 女17 計26 子6	
	夕拝はNBI公開講座に合流し、当教会より男性1名女性2名が参加		
	7/13(月)	毎月、実用書道教室を開催	
		7/13(月)	月曜家庭集会 (休会)
		7/15(水)	新潟山形僚禱会 男2 女3 計5
		7/17(金)	しゃべり場タピタ 男- 女4 子1
		7/17(金)	金曜祈禱会 男- 女4 計4

諸集会のご案内

※毎月、実用書道教室を開催			
	月曜家庭集会	※次回は7/27(月)	
7/22(水)	19:30～	救禱会	教会堂
7/24(金)	13:30～	しゃべり場タピタ	渡辺智子姉宅
7/24(金)	夜	金曜祈禱会	教会堂

7/26(日) 聖霊降臨節第10週

第一礼拝 8:00～	司会：近伸之牧師	音響：片山勝三兄	
教会学校 9:00～	担当：小林洋子姉		
歓迎礼拝 10:30～	司会：片山勝三兄 集會：片山清子姉	音響・映像： 賛美リード：賛美チーム 説教の録画：山崎敬典兄	感謝祈祷：山崎為明兄 掃除：片山初子姉
礼拝について(歓迎礼拝)	第1部の賛美および応答の賛美：賛美チームの選曲 頌栄：198「God Bless You」 派遣：54「主の祈り」		
主日の予定	愛餐会、賛美練習		
夕拝 19:30～	司会・説教 近伸之牧師		

報告

1. 本日の予定

主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばをかみしめて一週間を歩みましょう。本日午後3時より新潟聖書教会において創立40周年記念会が行われます。教団は違いますが、新潟の地で宣教を担う群としてこれからも祈り支援していきましょう。なお、通常第三週目に行なっているカナン訪問は今月お休みしますので、よろしくご報告致します。

2. 今週の予定

- 7/21(火) 午前10:00より 新潟福音教会にて2015年度宣教区講演会第2回準備連絡会
- 7/23(木) 午後2:00より 敬和学園の理事会
- 7/24(金) 午後1:30より シオンが丘キリスト教会にて宣教区国外宣教委員会

山の好きな一人の青年が、冬の山に登りました。かなりの経験と自信がありましたから、装備も食料も十分に整え、地図も確認して山に入りました。やがて天候が崩れはじめ、またたく間に吹雪ぎになってしまいました。しかし彼は引き返さず先に進むことにしました。吹雪はますます厳しくなり、容赦なく行く手を阻みます。それでも彼は経験と勘に頼って前進して行きました。やがて彼は方角を失ってしまったのです。足は棒のようになり、体力も消耗しながら、必死の思いで歩き続けていると、ふと彼の前にある一筋の薄い足跡に気がつき、元気が出てきました。この足跡について行けばだれかに会えるぞ。残る力をふりしぼって足跡をたどりました。しかし、いくら歩いても追いつくことができません。彼はついに力尽きて倒れてしまいました。吹雪の後、彼を察して捜索隊が派遣され、地上から空から彼を探しました。雪の中に倒れて死んでいる彼を見つけた人々は驚きました。彼が歩き回った足跡が山の周りを何度も何度もぐるぐると回っていたからです。彼は自分の足跡を追いかけていたのです。

これは人生を考えさせる出来事ではないでしょうか。人の足跡を道しるべにしなが、実は自分の足跡を追っているということです。人生のあらゆる状況の中で判断をしなければならぬのは自分自身です。その自分が道に迷ってはどのようにもなりません。

聖書には、「私たちはみな、羊のようにさまよい、おのれの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼(キリスト)に負わせた」(『イザヤ書』53章6節)と記されています。またイエス・キリストは、こう言われました。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」(『ヨハネの福音書』14章6節)。

船も、飛行機も、登山者も、人生を歩む人々も、みな正しい道を必要としています。イエス・キリストは、神に背き道を踏み外してしまった者のために、十字架にかかり、この罪の償いをしてくださり、神に至る正しい道を拓いてくださいました。だれでもキリストを自分の救い主として信じ受け入れるなら、神の赦しを得、神の愛の中を歩むことができます。

今、自分がどこにおり、どこに行こうとしているのか分からなくなっている方もおられるかもしれません。自分の知識や経験に頼って、いつの間にか堂々めぐりをしてはいないでしょうか。まことの道であるイエス・キリストを信じることによって、あなたは永遠に確かな道、喜びの道、希望の道を歩むことができるのです。



ダリアはキク科の多年草の花。もともとは中南米の高地が原産だが、世界中で栽培され、今では三万種以上に及ぶという。日本では「天竺牡丹」「ボンボンダリア」と呼ばれることもある。「一滴の雨もとどめず緋のダリア」(中村菊一郎)。

2015年度教会目標

「心から進んで」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た」(出エジプト35:29)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



7/25(土)「バラに魅せられて」伊藤文男さん(写真)
■メッセージ: 原田憲夫

東京都墨田区に住む画家・伊藤文男さんは、50年以上バラを描き続け、数々の企画展に出品し、国際芸術文化賞、国際学士院最高栄誉賞などを受賞している。クリスチャンである伊藤さんは、2013年にバラの絵と聖書のことばを合わせた詩画集『ちいさな花』を出版した。製作の様子を紹介するとともに、作品に込めた思いなどのお話を伺う。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>

電子メール: info@toyosakakyokai.com

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

